

## 【事業の概要】

商店街では、郊外における大型店の出店等を受け、歩行者交通量や営業店舗の減少等が進み、「賑わい」が急速に失われていました。

そのような時に、台風によるアーケードの破損が発生し、修繕ではなく、撤去する方針を選択することになりました。

それを契機に、路面整備や街路灯の設置など、通りの商業環境を整備するとともに、空き店舗への出店誘発や来訪者の滞在時間増加など、にぎわい回復の仕掛けづくりに取り組み始めました。

現在は、隣接する商店街も上記の取組に感化され、商店街の再整備に向けた取組が動き出しています。



ほっしょうじ通り（土曜日）



ほっしょうじ通り（よなご映画事変）



## 【担当者インタビュー】

米子市都市創造課 太田良子さん



### Q. この取組におけるあなたの役割・担当は？

本取組について幅広く担当しています。本年度（令和3年度）に担当となる以前は、道路管理者の立場で、補修工事や許認可事務に携わっていました。

### Q. 一番苦労した点、一番やりがいや楽しさを感じた点を教えてください。

これから様々な取組を展開していくため、まだ勉強中です。本取組によって、20年後、30年後にまちがどう変わっているか正直不安もありますが、米子の未来のために頑張ってお取組んでいきたいです。

### Q. あなたにとってウォーカブルに取り組む「最初の一步」はなんでしたか？ どうやってその一步を踏み出すことができましたか？

今年度より本取組の担当となり、以前は道路管理者として規制をする立場であったことから、最初は戸惑いを感じていました。しかし、「都市と交通 第119号（(公社)日本交通計画協会）」に掲載されていた渡邊技術審議官の執筆記事を読んだことをきっかけに、ウォーカブルなまちづくりの取組に対する理解（これまで進められてきた道路行政の否定ではなく、その資源があっただけの取組なのだという思想の転換）ができ、取組に対して力が入るようになりました。

### Q. 全国のウォーカブル担当者へ一言！

大都市のウォーカブルの事例を見て取組のハードルを勝手に自分たちで上げず、まずはできる範囲で、できることから取組を進めていくことが大事だと思います。まちを歩くことで、これまで見えていなかったものが見えるようになり、まちに対する新たな発見があります。ぜひ、みなさんもまちを歩いてみてください！